

令和4年7月定例会議事録

令和4年7月6日

鹿屋市教育委員会

○日 時 令和4年7月6日(水)
15時から17時まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	蓑 田 繼 男
教育委員	早 川 雅 子
教育委員	東別府 睦
教育委員	遠 矢 達 一

○関係者

教育次長	稲 村 憲 幸
教育総務課長	川 越 太
学校教育課長	新 屋 公 彦
生涯学習課長	山 口 良 二
教育総務課課長補佐	曾 原 学
教育総務課総務係長	久木田 圭 介

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 報告
 - (1) 鹿屋市議会 6 月定例会の一般質問について
 - (2) 令和 4 年度実施鹿屋看護専門学校入学試験日程について
 - (3) 鹿屋市公民館運営審議会への諮問内容について
 - (4) 海上自衛隊鹿屋航空基地内で工事中に発見された構造物の調査終了について
 - (5) 鹿屋市子ども会シンボルキャラクター表彰式について
 - (6) かのやっ子わくわくアドベンチャー i n 屋久島について
- 5 動議の討論等
- 6 その他
- 7 閉会

○議決事項

議案番号	件名	審議の状況	採決次第
	(今回はなし)		

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>台風4号による被害がなく安心した。新型コロナウイルスについて、県がいくつかの制限を解いた途端に、子ども達の罹患者が増えた。学校長には改めて予防対策を指導した。一方で熱中症の問題もあるが、子ども達がマスクをとりたがらないという心配もある。本日、鶴峰小学校を訪問した。鶴峰小学校は児童数17名、完全複式の3学級で、小規模校ながらも一人ひとりを大切にしてい取り組み、今年の県統一テスト等の学業調査では好成績の結果を残し、一生懸命取り組んだ成果だと実感した。各学校において、様々な課題等もあるだろうが、今後もそれぞれの学校で頑張って取り組んでいただきたい。</p> <p>本日も宜しく願いしたい。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
教育長	報告なし
4	報告
教育次長	<p>(1) 鹿屋市議会6月定例会の一般質問について</p> <p>資料に基づき説明</p>
東別府委員	<p>「選挙について」で、自身の子ども達を幼少期の頃から、現在も一緒に投票所に連れて行く。以前は、投票所で選挙スタッフが子ども達にコミュニケーションをとってくれたが、新型コロナウイルスの影響で入室を拒否されるようになった。このままでは選挙権のある年齢になり、投票するにしても投票所の雰囲気や投票の流れは分からないと思う。コロナ対策も重要なことだが、選挙に関心が無くならいか不安がある。</p>
教育次長	<p>以前は、親子連れで投票所に来られる方もおり、子どもに声をかけるなどコミュニケーションを取っていたが、コロナ禍で、感染症対策をメインに行うようになり、そのようなこともなくなったが、終息すれば以前のような形に戻るのではないかと思います。</p>

早川委員	選挙管理委員会による出前授業とは、どのような事をするのか。
教育長	出前授業を見たことがあるが、政治的なことに関心を持ってもらうように動機付けをするものや、大人として選挙に参加することへの意義を深める内容であった。また、スライドで投票所を写して投票手順を教え、投票は難しくないということを伝えていた。選挙管理委員会等、工夫して中学生や高校生向けにプログラムを作成している。
教育次長	最近では、実際に使用する投票箱や記載台を学校に持っていき、模擬投票を行う所もあるようだ。
早川委員	自分の投票結果がどのように影響するのか伝える事も、動機付けることになると思う。また、選挙の仕組みなど基本的ことを教えていくと興味を持つのではないか。
教育長	選挙の仕組みなど基本的なことは、社会科の授業で扱うようになってきている。特に、中学校の公民の授業では、政治や選挙の仕組みを扱っている。海外の学校では、政治に関して活発にディベートを実施しているが、日本は新聞等で扱っていることを授業で取り扱うことが難しいといった一面もある。
遠矢委員	「教職員の働き方改革について」、高校生にボランティア活動や行事参加を依頼することがあるが、引率する教職員については、働き方改革もあり、校長も時間外勤務をお願いすることは、なかなか難しいようだ。ボランティア活動に係る担当職員は、どのような扱いとなるのか。仕事として参加するのか。又は、ボランティアか。「働き方改革」を考えると、依頼してもいいのだろうか悩んでしまう。
遠矢委員	平日の場合は給料が支給されるが、土日祝日の休日の場合は、どうなるのか。日当や時間外等の規定はどうなっているのか。
学校教育課長	生徒はボランティアとなるが、引率する教職員についてはケースバイケースであり、校長の判断となる。
早川委員	そこが解消しないと依頼しにくくなる。
教育長	休日に校長が仕事として勤務を命じることができるのは、数項目に限定されており、この項目以外の勤務についてはむずかしい。しかし、

早川委員	<p>基本的には、学校は地域や町と一体となって、子ども達の育成を考えると前向きに考えるべきである。休日出勤したら、振替休日で調整するなどして解決策を考えてもいいのではないかと思う。</p> <p>主催者側が日当を出し、教職員が受け取り可能であれば依頼しやすい。</p>
教育長	<p>そうなると兼職兼業の許可が必要になる。基本的にはボランティア活動等には積極的に参加し、活動することが一公務員としてあるべき姿ではあるが、限度もあるため兼ね合いが必要だ。</p>
養田委員	<p>「教育環境の整備について」で、市内の学校は、創立百年を経過する伝統ある学校もある。学校の立木の中に枯れ木があったり、台風の影響等もあり、特に今年は蜂の巣の数が多い。大変ではあるが、管理職、学校用務員や保護者の協力を得て奉仕作業をすることで大人の目が行き、危険を取り除く事もできると思う。また、学校の垣根が、通学路に張り出しているところもあり、定期的に確認や対処が必要である。子ども達の安全を第一に考えれば、こういったことを教育委員会側から働きかける事も必要ではないか。</p>
学校教育課長	<p>月に一度、各学校で校舎内・外や校庭周りの安全点検を実施している。職員が数チームに分かれて、子ども達が触れたり、ぶら下がっても危険がないか、目視だけではなくトンカチで叩くなどして点検をしている。学校周りの垣根等の点検も同時に点検している。異常があれば、教育委員会に報告し対処するシステムである。今後も毎月の点検については、教職員が安全点検を行った後、管理職が最終点検をして終了するように継続する。</p>
東別府委員	<p>「教職員の働き方改革について」で、数年前に通知表の担任欄がパソコンで入力されていた。手書きの方が、気持ちも入っているように感じ、当時の担任に聞いてみると、パソコン入力の方が何度も推敲した上で作成できるとのことだった。数年後に通知表はシステム化され、当時の担任からは、このシステム導入で時間短縮になっていると聞いた。そう考えると、全教員が共通に使用できるシステムを導入することにより、教職員の働き方改革に沿うものであり、有り難いシステムだと感じた。</p>
教育長	<p>通知表は、校務支援システムを使用して作成しており、最後には必ず</p>

	<p>管理職による最終確認を行っている。誤字脱字のみならず、評価に対する担任のコメントの確認まで行っている。担任と管理職が一人ひとりについてじっくりと話し合う時間を持てることも、システム導入の効果である。</p>
学校教育課長	<p>(2) 令和4年度実施鹿屋看護専門学校入学試験日程について</p> <p>資料に基づき説明</p>
生涯学習課長	<p>(3) 鹿屋市公民館運営審議会への諮問内容について</p> <p>資料に基づき説明</p>
生涯学習課長	<p>(4) 海上自衛隊鹿屋航空基地内で工事中に発見された構造物の調査終了について</p> <p>資料に基づき説明</p>
生涯学習課長	<p>(5) 鹿屋市子ども会シンボルキャラクター表彰式について</p> <p>資料に基づき説明</p>
教育長	<p>審査方法について教えて頂きたい。</p>
生涯学習課長	<p>子ども会による審査委員会を開催し、厳選な審査の結果、決定した。まずは、子ども会の会員証に活用する。</p>
生涯学習課長	<p>(6) かのやっ子わくわくアドベンチャー in 屋久島について</p> <p>資料に基づき説明</p>
東別府委員	<p>ボランティアで参加する学生は、高校生が多く中学生が少ないのが残念だ。中学生は、中体連の県総体と重なるようで参加が難しい。日程を再検討することはできないのか。</p>
生涯学習課長	<p>中学生からも参加希望の声はあるようだが、台風の時期でもあり、調整が難しい。延期を避けたく、毎年この日程になる。</p>

5	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
6	その他
教育長	次回の定例教育委員会は、令和4年8月5日（金）15時00分から教育長室で行う。
7	閉会
教育長	以上をもって7月定例教育委員会を閉会する。 以上